

第 10 章 文化財

第 1 節 文化財保護体制の充実

1 指定文化財保護体制の充実 (文化財パトロール)

例年、文化財保護体制の充実を図るため、民間の有識者を文化財保護指導委員に委嘱し、パトロール計画に基づいて、定期的に国・県指定重要文化財や重要遺跡の巡視を行い、その現況把握に努めてきた。令和 6 年度は県内 15 地区 179 件の文化財を巡視した。

2 文化財保護指導者研修会

(1) 趣旨

文化財に関する知識の普及と愛護精神の高揚を図るため、公益財団法人福島県文化振興財団と県教育委員会の共催により実施した。文化財の保護について指導的立場にある関係者に対し、文化財に関する専門的事項について講習を行い、市町村における文化財保護行政の進展に役立てることを目的とする。

(2) 期日及び場所

令和 6 年 10 月 3 日(木)～4 日(金)

檜葉町コミュニティセンター

(3) 内容

ア 講義内容及び講師

(ア) 「福島県指定文化財の指定について」

櫻井宗成 (福島県教育庁文化財課)

(イ) 「檜葉天神原遺跡とその時代」

石川日出志 (福島県文化財センター白河館長)

(ウ) 「震災復興と文化財保護—檜葉町の取組—」

坂本和也 (檜葉町教育委員会)

イ 現地研修

檜葉町×東京大学総合研究博物館連携ミュージアム

展示・バックヤード視察 (案内：檜葉町教育委員会)

3 市町村文化財保護担当者会議

(1) 趣旨

県内各市町村の文化財行政担当者が職務を遂行するうえでの必要な知識の習得を図り、また、実務上の疑問点や問題点等について質疑・意見交換することによって、より円滑に文化財行政を推進させることを目的とする。

(2) 期日及び場所

第 1 回 5 月 2 日 (木) 自治会館 (福島市)

第 2 回 5 月 27 日 (月) Zoom によるオンライン

第 3 回 6 月 14 日 (金) Zoom によるオンライン

第 4 回 11 月 29 日 (金) Zoom によるオンライン

(3) 内容

ア 県文化財課所管事業及び文化財行政の動向について

イ 令和 6 年度事業概要について

ウ 各指定文化財への対応について

エ 「近現代建造物緊急調査事業」の成果発表 等

第 2 節 埋蔵文化財保護の充実

1 埋蔵文化財保護体制

開発事業によりやむを得ず消滅する埋蔵文化財については、発掘調査による着実な記録保存を行ってきた。埋蔵文化財保護に係る調整、予備調査等については開発事業の推移に応じた埋蔵文化財保護体制を整えてきた。

また、県の委託により発掘調査を行っている公益財団法人福島県文化振興財団遺跡調査部においては、財団職員 21 名で調査にあたった。

公益財団法人福島県文化振興財団遺跡調査部職員数

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
人員	39	37	32	30	32	26	22	25	22	21	21

2 開発事業地内の保護対策

開発事業地内の遺跡の保護は、遺跡の所在・範囲・内容等を明らかにする「分布調査」「試掘・確認調査」の結果により、事業者と遺跡を保護するための「保存協議」を行い、現状保存ができない場合は、発掘調査により「記録保存」し、その成果を調査報告書としてまとめることで対応している。

(1) 分布調査、試掘・確認調査

分布調査、試掘・確認調査は、遺跡を保護するための情報を収集することを目的としている。

令和 6 年度は、会津縦貫北道路整備事業 85,500 m²、阿武隈川上流大規模災害関連事業(遊水地事業) 75,000 m²、国道 4 号事故対策事業 570 m²、只見川河川整備事業 2,600 m²、(仮称)大滝山風力発電事業 2,130 m²、計 5 事業 165,800 m²の試掘・確認調査を実施した。

なお、復興事業に係る埋蔵文化財調査については別記した。

(2) 保存協議

昨年度からの継続協議を含め、関係機関と保存協議を実施した。

関係機関：国土交通省、県土木部、民間企業等。

(3) 発掘調査

県教育委員会では、開発に伴う発掘調査(記録保存目的の本発掘調査)を公益財団法人福島県文化振興財団に委託し、以下の遺跡について実施した。

・会津縦貫北道路遺跡発掘調査 600 m²

・国道 4 号事故対策事業遺跡発掘調査 900 m²

・農山村地域復興基盤総合整備事業関連遺跡発掘調査 6,600 m² 計 8,100 m²

なお、県内市町村においても開発に伴う発掘調査を各市町村文化財保護担当部局が実施しているが、遺跡の重要性や調査体制の実情に応じ、適時助言及び支援を行っている。

3 令和6年度の復興事業に係る埋蔵文化財調査状況

東日本大震災及び原子力災害に係る復旧・復興事業計画区域内において、埋蔵文化財の分布調査、試掘・確認調査を迅速に実施し、復興事業計画に遅れが出ないよう対応した。

さらに、被災市町村に対して埋蔵文化財調査に係る技術協力を実施し、復興事業の迅速化に寄与してきた。

〈令和6年度〉復興調査体制

(南相馬市駐在)

課長 — 副課長 — 県専門職員
(6名)

調査対応した開発事業は以下のとおりである。

(1) 分布調査

農山村地域復興基盤整備、県道整備、環境再生事業、発電・送電施設整備事業

4,527,064 m²

(2) 試掘・確認調査

農山村地域復興基盤整備、県道整備、環境再生事業
373,475 m²

(3) 復興・再生事業等に係る市町村技術協力

- ・新地町、相馬市、飯舘村、南相馬市、浪江町、双葉町、檜葉町への技術協力
- ・第23回 東日本大震災の復旧・復興に伴う埋蔵文化財の取扱いに関する連絡会 11月19日開催(浪江町)
- ・各市町村訪問

4 埋蔵文化財保護体制充実のための研修

(1) 福島県文化財センター白河館文化財研修

公益財団法人福島県文化振興財団が指定管理を行っている福島県文化財センター白河館において、埋蔵文化財の調査を担当する自治体・団体職員などを対象とした研修会を実施し、265名が受講した。

(2) 独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所埋蔵文化財担当者専門研修

令和6年度に受講した者は以下のとおり。

研修名称	期 日	受 講 者
文化財石垣保存整備(講義)課程	令和6年6月12日～6月14日	白河市文化財課 1名
遺跡調査技術課程	令和6年9月30日～10月4日	白河市文化財課 1名
保存科学(木製遺物)課程	令和6年10月21日～10月29日	郡山市文化振興課 1名

5 埋蔵文化財保護普及活動

令和6年度に刊行した埋蔵文化財調査報告書は以下のとおり。

- ・東日本大震災復興関連遺跡調査報告 11
- ・福島県内遺跡分布調査報告 31
- ・県道浪江鹿島線整備事業遺跡発掘調査報告 2
- ・会津縦貫南道路遺跡発掘調査報告 3
- ・会津縦貫北道路遺跡発掘調査報告 17
- ・国道4号事故対策事業遺跡発掘調査報告 1
- ・只見川流域築堤工事遺跡発掘調査報告 2
- ・主要地方道原町川俣線(下高平工区)整備事業遺跡発掘調査報告 1
- ・阿武隈川上流大規模災害関連事業遺跡発掘調査報告 1

6 市町村埋蔵文化財調査技術協力事業

この事業は、県内の市町村教育委員会が実施する埋蔵文化財発掘調査等について、市町村教育委員会からの要請により県教育委員会が埋蔵文化財の調査等に必要な技術を協力・支援する事業である。

調査等に必要な技術の協力・支援を行う職員は、県教育委員会の依頼により公益財団法人福島県文化振興財団が選任した財団職員で、分布調査、試掘・確認調査、小規模な発掘調査及び出土遺物の整理や報告書作成に関する技術の協力・支援を行う。

令和6年度の技術協力の実績は、下記のとおり。

市町村	遺 跡 名	協力内容
湯川村	浜崎城跡	試掘・確認調査
大玉村	下高野遺跡	試掘・確認調査
古殿町	田口城跡	試掘・確認調査
双葉町	深谷古墳群、深谷A遺跡ほか	試掘・確認調査
泉崎村	踏瀬長峯地区	試掘・確認調査
鏡石町	久来石下地区	試掘・確認調査
檜枝岐村	滝沢遺跡	分布調査

7 開発事業に伴う試掘・確認・発掘調査件数

(1) 令和6年度 試掘・確認調査件数

No	調査原因	県 北	県 中	県 南	会 津	南会津	相 双	いわき	計
1	道路	1	1	3	3		4	1	13
2	河川			1	1				2
3	住宅	4	13	1				2	20
4	個人住宅	17	138		2		5	1	163
5	工場		1						1
6	店舗	1	2					1	4
7	その他建物	2	9		1		3	2	17
8	宅地造成	6	5	1	1			2	15
9	土地区画整理		6						6
10	公園造成							1	1
11	電気・ガス・水道等		6					2	8
12	農業基盤整備事業（農道等を含む）		1	1	1		10	2	15
13	その他の農業関係事業								0
14	その他開発	6	19				16	3	44
合 計		37	201	7	9	0	38	17	309

(2) 令和6年度 発掘調査件数

No	調査原因	県 北	県 中	県 南	会 津	南会津	相 双	いわき	計
1	道路	2		1	3		1	3	10
2	河川								0
3	個人住宅		1				1		2
4	その他建物		1		2			1	4
5	宅地造成				1				1
6	土地区画整理			1					1
7	公園造成							1	1
8	ガス・電気・水道等								0
9	農業基盤整備事業（農道等を含む）						1		1
10	その他開発				2		2		4
合 計		2	2	2	8	0	5	5	24

8 範囲内容確認調査・史跡整備に係る調査・学術調査

No	調査原因	県 北	県 中	県 南	会 津	南会津	相 双	いわき	計
1	範囲内容確認調査	2			3			1	6
2	史跡整備に係る調査			1		1	1		3
3	学術研究				3				3
合 計		2		1	6	1	1	1	12

9 令和6年度 試掘・確認調査

No	遺 跡 名	所 在 地	調査主体者	調査実施期間	調査面積 (㎡)	時 代	種 別	調査原因
1	鶴沼A遺跡ほか6箇所	会津若松市高野町大字中沼 字鶴沼・大字柳川字下高野 ほか	県教委	4月22日～5月31日 11月12日～12月4日	84,500	奈良、平安	散布地	道路
2	KI-YS. B1ほか5箇所	岩瀬郡鏡石町諏訪町ほか	県教委	6月24日～8月7日 2月18日～3月4日	75,000	-	-	河川
3	YB-KD4J. B1	西白河郡矢吹町北浦	県教委	8月28日	570	-	-	道路
4	びわ首沢遺跡ほか4箇所	郡山市熱海町中山平石	県教委	9月9日～9月13日 11月5日～11月6日	2,130	-	-	電気
5	KY-B 2	大沼郡金山町大字本名	県教委	10月15日～10月18日	2,600	-	-	河川
6	TM-HO. B10ほか3箇所	双葉郡富岡町大字小浜	県教委	4月25日～4月26日 5月8日～5月15日	213	-	-	道路
7	角部内南台遺跡	南相馬市小高区角部内	県教委	1月31日	8	-	-	道路
8	IT-ND. B1	相馬郡飯館村大字長泥字長 泥	県教委	10月15日～10月18日	62	-	-	環境再生
9	一杯清水遺跡	南相馬市鹿島区大字檜原字 東畑	県教委	6月4日 2月26日～3月4日	151	縄文、平安 ～中世	散布地	農地整備
10	MSC-YMS. B1	南相馬市鹿島区大字山下字 北山下	県教委	4月23日 6月25日～6月28日 8月5日	337	-	-	農地整備
11	後谷地A遺跡ほか1箇所	双葉郡川内村大字上川内字 続々滝	県教委	11月13日～11月14日	120	縄文	散布地	農地整備
12	NE-KYH. B1	双葉郡浪江町大字幾世橋字 作内ほか	県教委	5月21日～5月30日	538	-	-	農地整備
13	東前畑遺跡ほか12箇所	双葉郡浪江町大字末森字東 前畑ほか	県教委	6月5日～6月21日 7月1日～8月2日 8月6日～8月8日 8月20日～10月11日 10月21日～10月22日	4,213	縄文、弥生、 古墳、奈良、 平安	窯跡、 散布地	農地整備
14	塚越遺跡ほか9箇所	双葉郡浪江町大字高瀬字塚 越ほか	県教委	10月23日～11月12日 11月18日～11月29日 12月10日～12月16日 1月7日～1月28日 2月3日～2月7日	2,429	古墳	散布地、 集落跡	農地整備
15	下加倉C遺跡	双葉郡浪江町大字加倉字下 加倉	県教委	2月12日～2月14日	62	縄文	散布地	農地整備
16	FB-IN. B2	双葉郡双葉町大字上羽鳥字 榎内	県教委	8月19日	2	-	-	道路
17	宮田遺跡ほか1箇所	双葉郡檜葉町大字上小塙字 宮田ほか	県教委	12月2日～12月6日	320	奈良、平安	散布地	農地整備

10 令和6年度 発掘調査

No	遺 跡 名	所 在 地	調査主体者	調査実施期間	調査面積 (㎡)	時 代	種 別	調査原因
1	踏瀬熊ノ森遺跡	西白河郡泉崎村大字踏瀬字 踏瀬・熊ノ森	県教委	4月15日～6月26日	900	縄文、古墳	散布地	道路
2	上吉田C遺跡	会津若松市高野町大字上高 野字村西	県教委	10月15日～11月15日	600	中世、近世	散布地	道路
3	根田遺跡	南相馬市小高区小屋木字根 田地内	県教委	4月15日～12月5日	6,600	縄文、弥生、 古墳、平安	散布地	農業基盤

第3節 文化財保存助成の充実

1 令和6年度 文化財保存助成事業

国指定文化財の防災設備保守点検等の管理に必要な経費について、助成を行った。

事業区分	補助事業者	名称	種別	事業内容	金額（単位：円）			
					事業費	国庫補助	県費補助	その他
国指定文化財管理	延命寺	延命寺地蔵堂	建造物	防災保守点検等	261,000	66,000	65,000	130,000
国指定文化財管理	八葉寺	八葉寺阿弥陀堂	建造物	防災保守点検等	231,400	58,000	57,000	116,400
国指定文化財管理	横山操	旧滝沢本陣 横山家住宅	建造物	防災保守点検等	320,300	80,000	79,000	161,300
国指定文化財管理	飯盛正徳	旧正宗寺三匠堂	建造物	防災保守点検等	920,467	230,000	230,000	460,467
国指定文化財管理	勝福寺	勝福寺観音堂	建造物	防災保守点検等	431,750	108,000	107,000	216,750
国指定文化財管理	熊野神社	熊野神社長床	建造物	防災保守点検等	1,145,600	286,000	286,000	573,600
国指定文化財管理	円満寺	円満寺観音堂	建造物	防災保守点検等	726,220	181,000	182,000	363,220
国指定文化財管理	恵隆寺	恵隆寺観音堂	建造物	雪降し、除雪等	157,111	39,000	39,000	79,111
国指定文化財管理	法用寺	法用寺本堂内 厨子及び仏壇	建造物	防災保守点検	40,060	10,000	10,000	20,060
国指定文化財管理	常福院	常福院薬師堂	建造物	防災保守点検	47,250	11,000	12,000	24,250
国指定文化財管理	福生寺	福生寺観音堂	建造物	防災保守点検	52,700	13,000	13,000	26,700
国指定文化財管理	八幡神社	八幡神社本殿、幣 殿、拝殿ほか3棟	建造物	防災保守点検等	284,080	71,000	71,000	142,080
国指定文化財管理	飯野八幡宮	飯野八幡宮 本殿ほか6棟	建造物	防災保守点検等	759,412	189,000	190,000	380,412
国指定文化財管理	専称寺	専称寺	建造物	防災保守点検	291,700	72,000	73,000	146,700
計	14 件				5,669,050	1,414,000	1,414,000	2,841,050

2 令和6年度 指定文化財保存活用事業（災害復旧事業を除く）

文化財の修理・防災・整備・調査・管理、埋蔵文化財保存調査等の事業（保存事業）とそれらの文化財を活用した事業（活用事業）を一体的に行った事業（保存活用事業）に必要な経費について、助成を行った。

(1) 国指定文化財等

事業区分	補助事業者	名称	種別	事業内容	金額（単位：円）			
					事業費	国庫補助	県費補助	その他
建造物保存修理	八幡神社	八幡神社本殿、幣 殿、拝殿ほか3棟	建造物	建造物修理	100,660,000	80,000,000	2,500,000	18,160,000
建造物保存修理	喜多方市	旧甲斐家住宅店蔵 ほか9棟	建造物	建造物修理	65,752,060	42,412,000	2,500,000	20,840,060
計	2 件				166,412,060	122,412,000	5,000,000	39,000,060

(2) 県指定文化財

事業区分	補助事業者	名称	種別	事業内容	金額（単位：円）			
					事業費	国庫補助	県費補助	その他
建造物保存修理	南泉寺	南泉寺鐘楼門	建造物	建造物修理	3,234,280	0	1,070,000	2,164,280
建造物保存修理	南会津町	旧山内家住宅	建造物	建造物修理	25,481,080	0	5,410,000	20,071,080
建造物保存修理	高蔵寺	高蔵寺三重塔	建造物	建造物修理	32,179,710	0	10,720,000	21,459,710
美術工芸品保存修理	熊野神社	木造文殊菩薩 騎獅像	美術 工芸品	彫刻修復	6,699,000	0	1,780,000	4,919,000
美術工芸品保存修理	南須釜区	東福寺十二神将	美術 工芸品	彫刻修復	3,734,812	0	1,240,000	2,494,812
美術工芸品保存修理	恵隆寺	木造二十八部衆	美術 工芸品	彫刻修復	3,012,700	0	800,000	2,212,700
記念物保存修理	檜葉町	塩貝の大カヤ	天然 記念物	指定地内整備	3,690,280	0	1,070,000	2,620,280
記念物保存施設	東禅寺	東禅寺の めおとスギ	天然 記念物	指定地内整備	3,078,106	0	1,020,000	2,058,106
記念物保存施設	矢祭町	戸津辺のサクラ	天然 記念物	指定地内整備	2,941,200	0	630,000	2,311,200
計	9 件				84,051,168	0	23,740,000	60,311,168

3 令和6年度 指定文化財保存活用事業（災害復旧事業）

令和4年3月福島県沖地震等により被災した国指定文化財等の修復等保存事業に必要な経費について、助成を行った。

(1) 国指定文化財

事業区分	補助事業者	名称	種別	事業内容	金額（単位：円）			
					事業費	国庫補助	県費補助	その他
災害復旧	安積歴史 博物館	旧福島県尋常 中学校本館	建造物	災害復旧工事	130,000,000	110,500,000	870,000	18,630,000
災害復旧	願成寺	阿弥陀堂（白水 阿弥陀堂）	建造物	災害復旧工事	115,088,110	97,824,000	6,900,000	10,364,110
災害復旧	いわき市	白水阿弥陀堂 境域	史跡	災害復旧工事	283,772,663	198,640,000	2,500,000	82,632,663
災害復旧	願成寺	阿弥陀堂（白水 阿弥陀堂）	建造物	災害復旧工事	18,000,000	15,300,000	1,080,000	1,620,000
計	4 件				546,860,773	422,264,000	11,350,000	113,246,773

(2) 県指定文化財

事業区分	補助事業者	名称	種別	事業内容	金額（単位：円）			
					事業費	国庫補助	県費補助	その他
災害復旧	郡山市	開成館	建造物	災害復旧工事	69,650,000	0	7,400,000	62,250,000
災害復旧	相馬市	相馬中村城跡	史跡	災害復旧工事	15,250,400	0	3,290,000	11,960,400
計	2 件				84,900,400	0	10,690,000	74,210,400

第4節 文化財の保護と公開の推進

1 第66回北海道・東北ブロック民俗芸能大会

北海道・東北地区に伝承されている民俗芸能を広く一般に公開し、その価値を周知するとともに、無形民俗文化財の保存・伝承、文化財公開による地域振興等に寄与する。

期 日 令和6年 10月26日 リハーサル・実行委員会

10月27日 開会式・民俗芸能公開

場 所 多賀城市民会館（宮城県多賀城市）

2 文化財防火デーの実施

文化財の防火について、所有者・管理者はもとより、県民の理解と協力を高めるため、1月26日の「第71回文化財防火デー」を中心に、ポスターを配布するなどの啓発活動を行った。

また、各市町村においては、消防署や地元消防団の協力を得て、消火訓練、防火診断、防火査察等を実施した。

第5節 銃砲刀剣類の登録状況

美術品若しくは骨とう品としての価値のある火縄式銃砲等の古式銃砲又は美術品としての価値のある刀剣類の登録審査会を次のとおり実施した。

1 登録審査委員

溝井辰美、佐藤安弘、塚本剛之、塚本浩之

2 登録審査会の実施状況

期 日	会 場	審査数	失格数	登録数	登録数の内訳	
					刀 剣	銃 砲
5月16日	いわき合同庁舎	22	0	22	22	0
7月19日	郡山市労働福祉会館	26	0	26	26	0
9月10日	会津若松合同庁舎	31	0	31	31	0
11月19日	杉妻会館	35	0	35	35	0
2月13日	郡山市労働福祉会館	37	1	36	34	2
計		151	1	150	148	2

※ 再交付に係る審査を除く。

3 銃砲刀剣類の譲受け・相続等の届出状況

区 分	銃 砲 等	刀 剣 類
譲 受 け	36	611
相 続	2	109
貸 付	1	0
保管の委託	0	1
計	39	721

第6節 福島県文化財センター白河館の運営状況

1 入館者数

令和6年度の入館者は17,442人であり、前年度の入館者(14,383人)に比べ3,059人増加した。団体利用は、前年度に比べ324名増加した。平成13年7月の開館からの延べ入館者数は、630,637人となった。

2 入館者の内訳と傾向

地域別利用状況 県内者 77.7% (うち総入館者数に占める白河市の割合 36.5%)

県外者 22.3%

年齢層別利用状況 入館者全体のうち、児童生徒(高校生以下)が35.5%、団体入館者が15.1%を占める。

月	入館者数(人)	1日平均入館者数(人)
4月	1,550	62
5月	2,177	81
6月	1,622	62
7月	1,655	64
8月	2,072	77
9月	1,356	54
10月	1,063	39
11月	2,545	98
12月	708	31
1月	673	29
2月	922	38
3月	1,099	44
計	17,442	57

3 団体利用者の内訳と傾向

(単位 人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
幼稚園・保育園	団体数	3	2	4	1		1	1	3	2	2	2	1	22
	入館者数	27	15	78	6		9	9	39	19	22	20	9	253
小学校	団体数	1	1	11	7		2	1					1	24
	入館者数	14	24	480	233		90	9					90	940
中学校	団体数	1					1							2
	入館者数	22					72							94
高等学校	団体数	1	1											2
	入館者数	166	22											188
支援学校	団体数		1											1
	入館者数		17											17
大学	団体数													0
	入館者数													0
幼小中高PTA (保護者のみ)	団体数													0
	入館者数													0
幼小中高PTA (保護者と児童生徒)	団体数			1					1					2
	入館者数			52					55					107
研究会	団体数													0
	入館者数													0
子ども会	団体数				1			1						2
	入館者数				82			20						102
公民館等	団体数		1		1	1	1	2	1					7
	入館者数		26		10	25	29	65	31					186
福祉施設・ デイケアサービス	団体数			2	2	2	3	4	3			2		18
	入館者数			27	27	24	55	58	57			51		299

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
資 料 館 等	団体数													0
	入館者数													0
歴史研究団体	団体数						1	1						2
	入館者数						25	23						48
県・市町村・ 教委・審議会等	団体数			1										1
	入館者数			32										32
そ の 他	団体数	2	2		4	2	2			1	1	1		15
	入館者数	35	53		93	120	29			8	16	14		368
計	団体数	8	8	19	16	5	11	10	8	3	3	5	2	98
	入館者数	264	157	669	451	169	309	184	182	27	38	85	99	2,634
月別総入館者数に占める 団体入館者の割合(%)		17.03	7.21	41.25	27.25	8.16	22.79	17.31	7.15	3.81	5.65	9.22	9.01	15.10

4 情報発信事業の利用者

ホームページアクセス件数 33,810 件
(文化財データベースのほか、福島県文化財センター白河館の行事予定等をホームページで紹介している。)

「川内村ふるさと学校 土器づくり」	10月30日	参加者	25名
「マイタウン白河カルチャー教室」	12月7日	参加者	3名
「川内村ふるさと学校 土器野焼き」	12月8日	参加者	19名
「端町青少年育成町民会議 はなわ探検隊」	12月14日	参加者	32名

5 資料管理業務

県教育委員会による調査の出土品等 58,990 箱を、教育・普及・研究への活用が可能な環境に整備して収蔵管理している。
写真掲載・転載の申し込み 40 件、出土品借受の申し込み 17 件、収蔵庫保管品の館内閲覧 20 件であった。

6 研修事業の状況

埋蔵文化財や無形の文化財の調査・保護を担当する自治体・団体職員、文化財保護指導者、学校教育・生涯学習に携わる教職員などを対象とした研修を実施する。

区分	研修対象	研修内容
基礎研修 (1回)	市町村職員等	市町村が直面する課題や先行実践例の検証などを通して、文化財に対する災害対応、埋蔵文化財調査の監理・監督について学ぶ。
専門研修 (2回)	市町村職員、市町村文化財保護指導者等	市町村文化財保護行政の実践例を現地で検証し、まちづくりと展示施設の整備及び展示施設における展示環境について学ぶ。
特別研修 (6回)	市町村職員等	市町村の要望に応じて館内外において随時実施。

令和6年度研修実施状況

・基礎研修 (1回)			
「文化財保護行政実務者研修」	7月19日	参加者	23名
「埋蔵文化財発掘調査研修」	2月7日	参加者	12名
・専門研修 (2回)			
「文化財保護指導者研修会」	10月3日～4日	参加者延べ	81名
「文化財活用研修」	12月8日	参加者	13名
・特別研修 (6回)			
「西郷村立米小学校 出前授業」	6月13日	参加者	42名
「県立白河旭高等学校 探求学習活動」	10月29日	参加者	15名

7 体験学習事業の状況

過去の生活の一部を体験しながら学べるよう、復元品等を用いた体験学習の普及活動を、館内・館外で行う。

活動を行うための施設として、屋内に体験活動室を設けている。また野外展示施設では、体験広場を囲むように、縄文時代の家、前方後円墳、奈良時代の家、奈良時代の倉庫、製鉄炉、室町時代の館を復元展示している。

(1) いつでもできる体験学習

事前に予約を必要としない個人来館者を対象に実施するメニューと、事前予約制で、団体で体験学習を希望する場合を対象とするものを用意している。内容は、「勾玉づくり」「火おこしに挑戦」のほか、月替わりの期間限定メニューを用意している。

いつでもできる体験学習活動状況

月	来館者数(人)	体験者数(人)	割合(%)
4月	1,550	1,055	68.0
5月	2,177	1,714	78.7
6月	1,622	600	36.9
7月	1,655	1,352	81.7
8月	2,072	2,468	119.1
9月	1,356	888	65.5
10月	1,063	299	28.1
11月	2,545	1,067	41.9
12月	708	331	46.8
1月	673	296	44.0
2月	922	559	60.6
3月	1,099	665	60.5
計	17,442	11,294	64.8

※ 体験者数は1人で複数メニューを体験した場合も合算した延べ人数である。

(2) 募集型体験学習

事前に参加者を募集して土器づくり、大堀相馬焼などの単発プログラムを行う「実技講座」、事前に参加者を募集し、関連性・継続性のあるメニューを年間で実施する「まほろん森の塾」などのプログラム。

a まほろん森の塾

第1回 「開塾式ほか」	6月9日	参加者12名
第2回 「土笛づくりほか」	7月7日	参加者11名
第3回 「石庖丁づくりほか」	9月8日	参加者12名
第4回 「稲刈りほか」	10月20日	参加者10名
第5回 「しめ飾りづくり・開塾式など」	12月8日	参加者13名

b 実技講座

白河だるまづくり①下塗り	5月25日	参加者14名
白河だるまづくり②絵付け	6月29日	参加者14名
U-15実技講座「土器づくり」	7月27日・28日	参加者29名
「土笛づくり」	8月25日	参加者8名
「大堀相馬焼体験①ろくろ体験」	10月13日	参加者8名
「大堀相馬焼体験②墨入れ」	11月17日	参加者8名
縄文土器づくり 1日目	1月18日	参加者9名
縄文土器づくり 2日目	1月19日	参加者9名
縄文土器づくり 3日目	1月25日	参加者7名
縄文土器づくり 4日目 野焼き	3月9日	参加者8名

c 実技講座（Web配信）

「おうちでできる土器づくり」	通年	参加者24名
----------------	----	--------

(3) 館外体験学習

ア おでかけまほろん

福島県文化財センター白河館から、小中学校等教育機関等へ職員が出向き、収蔵資料等を活用した学習や体験学習を教職員と協働で行うプログラム。令和6年度は22カ所で行い、参加者数は合計560名であった。

第1回 南相馬市立原町第二小学校	5月23日	参加者34名
第2回 南相馬市立石神第二小学校	5月23日	参加者48名
第3回 伊達市立保原小学校	5月30日	参加者96名
第4回 柳津町立柳津小学校	6月13日	参加者20名
第5回 本宮市立糠沢小学校	6月20日	参加者16名
第6回 本宮市立五百川小学校	6月20日	参加者39名
第7回 喜多方市立山都小学校	6月27日	参加者12名
第8回 いわき市立宮小学校	7月4日	参加者15名
第9回 いわき市立湯本第二小学校	7月4日	参加者22名
第10回 郡山市立東芳小学校	7月11日	参加者14名
第11回 郡山市立小原田小学校	7月11日	参加者65名
第12回 喜多方市姥堂公民館	7月28日	参加者25名
第13回 二本松市立杉田小学校	9月12日	参加者31名
第14回 県立ふたば支援学校中等部	9月26日	参加者7名
第15回 県立たむら支援学校高等部	10月3日	参加者11名
第16回 国見町公民館（観月台文化センター）	10月20日	参加者30名
第17回 福島大学附属特別支援学校高等部	11月14日	参加者23名
第18回 小野町ふるさと文化の館	11月17日	参加者10名
第19回 県立視覚支援学小学部・中学部	11月21日	参加者3名
第20回 いわき市立勿来第二小学校	11月28日	参加者20名

第21回 二本松市岩代公民館	12月1日	参加者8名
第22回 飯館村立いたて希望の里学園小学部	12月12日	参加者11名
イ 生涯学習行事への出展		

生涯学習施設等が主催する行事に出展し、収蔵資料を活用したミニ展示や体験学習を行う。令和6年度は4回実施し、参加者数は合計663名であった。

第1回 福島県ハイテクプラザ	8月4日	参加者193名
第2回 那須高原ビジターセンター	10月26・27日	参加者153名
第3回 にほんまつ城報館冬季自主イベント	2月1・2日	参加者88名

8 講演会・講習会

文化財に親しみ、文化財への理解を深めるために、講演会や講座を開催した。

(1) 館長講演会 5回開催

第1回「右と左の考古学」	6月15日	聴講者34名
第2回「石斧の考古学」	8月24日	聴講者28名
第3回「縄文土器を読むー私が惚れたまほろんの一品」	9月22日	聴講者26名
第4回「地中から地域史を書き直すー会津坂下町の吉田博行さんをお迎えして」	12月8日	聴講者29名
第5回「時間の考古学」	2月15日	聴講者36名

(2) 文化財講演会等 6回開催

ア こども考古学教室1「古代のしらかわ」	7月21日	参加者21名
イ こども考古学教室2「県内地名の詠まれた和歌」	8月4日	参加者33名
ウ 「前田遺跡から出土した編み組製品」	10月27日	参加者42名
エ 「前田遺跡出土木製品の樹種同定」・「前田遺跡を掘る」	11月30日	参加者56名
オ 「銅谷迫遺跡・後迫B遺跡の調査について」	1月26日	参加者19名
カ 「福島県における復興調査について」	3月1日	参加者17名

9 常設展事業

常設展示では、以下のコーナーを設けて、収蔵物や復元品を理解しやすい形で展示している。

「暮らしのうつりかわり」「暮らしをささえた道具」「A：旧みんなの研究ひろば」「B：旧話題の遺跡」「C：旧しらかわ歴史名場面」各コーナーにおいては展示替えを積極的に行い、歴史や文化財等に関する新鮮な情報を提供した。

(1) 暮らしのうつりかわり

(ア) 展示替え 1回

(イ) 昭和～旧石器時代の出土品等

(2) 旧みんなの研究ひろば

(ア) 展示替え 6回

(イ) 桜町遺跡の弥生土器、会津地方弥生時代後期の土器と関連遺跡、郡山市徳定A・B遺跡展、白河結城氏の居城・白川城の全貌を見る、まほろん森の塾成果、第一学院高等学校郡山キャンパス歴史探究部卒業研究発表

(3) 旧話題の遺跡

(ア) 展示替え 7回

(イ) ふくしまの旧石器時代遺跡、X線CTで調べたまほろんの土偶たち、実技講座「U-15土器づくり」紹介、実技講座「白河だるまづくり」作品展、白河高校震災復興しらかわゼミ令和5年度活動報告、ふくしまのおひなさま、実技講座「縄文土器をつくろう」作品展

(4) 旧しらかわ歴史名場面

(ア) 展示替え 4回

(イ) 博物館実習生による展示「新収蔵資料浪江町鹿屋敷・赤坂D遺跡」、同「南相馬市谷地中遺跡」、「福島市孫六橋遺跡出土の弥生土器」、「双葉郡浪江町赤坂D遺跡の軒丸瓦」

(5) 「重要文化財公開」

(ア) 展示替え 6回

(イ) 国重要文化財ほか法正尻遺跡出土品

(6) プロムナードギャラリー等でのミニ展示及び展示替え「まほろんの逸品」

(ア) 展示替え 5回

(イ) 磐梯町・猪苗代町法正尻遺跡縄文土器、【白河の逸品】白河だるま、浪江町田子平遺跡出土土笛、飯舘村日向遺跡出土縄文土器・浪江町田子平遺跡出土縄文土器、本宮市高木遺跡出土縄文土器

10 企画展事業

特別展示室では、以下の企画展を開催している。

(1) 「戦後ふくしまの考古学2－高度経済成長期の発掘調査－」

会期(6年度)：4月1日～5月6日 観覧者 2,962名

全会期(前年度1月20日～3月10日含む)

累計観覧者 4,632名

(2) 「U-15の考古学－ふくしまの平安時代のはじまり－」

会期：6月15日～9月29日

観覧者 5,926名

(3) 「この木、なんの木？前田遺跡！－縄文時代の植物利用－」

会期10月26日～12月15日

観覧者 3,236名

(4) 「復興祈念展－人びとのいとなみの継承－」(前期展)

会期1月25日～3月16日

観覧者 1,800名

11 ボランティア運営事業

(1) 「まほろんボランティア」の活動状況

縄文時代の家、奈良時代の家の燻蒸

体験学習用器材の整備など

ボランティア連絡会・研修会(3回開催)

(2) 登録数

個人ボランティア 39名

12 市町村への技術支援の状況

文化財保護に対する個別の技術支援が必要な市町村に対して、専門職員の派遣を実施する。令和6年度は、1市1町に対し計2回、職員を派遣した。

- ・模擬原爆破片の劣化防止作業支援 福島市(1回)
- ・前田遺跡出土土器補強作業 川俣町(1回)

13 その他

イベントの開催

- ・「まほろん感謝デー」・「移動水族館アクアラバン」

11月2日～4日 参加者 1,604名